

きこえない・きこえにくい人に情報が届く避難所を!!
全国の福祉避難所・高齢者施設等に「目で聴くテレビ」専用受信機「アイ・ドラゴン4」
を設置してください===見える情報が命を守ります===

東日本大震災から 15 年 東日本大震災では1万5千人を超える方が亡くなられ、依然として約2万6千人の方が避難生活をされています。避難所で、「避難指示」「支援物資の案内」「医療情報」「行政からのお知らせ」などの情報は、おもに音声で伝えられたため、多くのきこえない・きこえにくい人たちが情報から孤立しました。

2024年8月8日に宮崎県日向灘で発生した最大震度6弱の地震で、気象庁は初の「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」を発表し、南海トラフ地震で被害が想定される地域に向けて、個々の状況に応じて身の安全を守る行動をとるよう呼びかけました。

お住まいの地域の避難所で情報は見えていますか?見える情報が命を守ります。

「目で聴くテレビ」の緊急災害リアルタイム手話放送

能登半島地震リアルタイム手話緊急災害放送の様子

「目で聴くテレビ」は1998年の放送開始から今日まで緊急災害時の情報保障を継続しています。障害者放送通信機構は、全日本ろうあ連盟と全国の加盟団体と協力して「アイ・ドラゴン4」の普及に努め、誰一人取り残されない避難所作りをうたえています。災害はいつ起こるかわかりません。避難所に「アイ・ドラゴン4」を設置して、日常普段から防災訓練や防災学習に活用して備えることが大事です。



「アイ・ドラゴン4」の機能

- 災害時に手話言語で緊急災害放送を見る
- 「目で聴くテレビ」が収集した災害時情報をオリジナル番組で見る
(全国の聴覚障害者情報提供施設と協力)
- 「リアルタイム手話・字幕放送」を見る
(情報通信研究機構(NICT)助成事業)
- 2,500本超の手話番組アーカイブを24時間いつでも見られる



認定特定非営利活動法人障害者放送通信機構は、文化庁からリアルタイム字幕配信事業者の指定を受けています。

聴覚障害者用情報受信装置
「アイ・ドラゴン4」(日常生活用具)

防災体験会をおすすめします

- 個別避難計画(マイ・タイムライン)の作成
- 万一の場合に自分と家族が行くべき避難所の確認
- 自分が助けることができる人・一緒に避難できる人は誰かについて話し合う
- 非常持ち出しリュックの中身を披露し合う
- 停電時にスマホを充電する方法を学ぶ
- 「アイ・ドラゴン4」で「目で聴くテレビ」の防災動画を見て基本的な防災減災の知識を得る

長野県須坂市では関係機関と市民が協力して総合防災訓練をおこない、「アイ・ドラゴン4」も訓練に導入されました。



災害時に避難所となる施設や団体に「アイ・ドラゴン4」を設置いただくように、地元の役所に要望書を提出してください。具体的な手順など、ぜひ当機構事務局にご相談ください。

◆◆ 石川県の事例 ◆◆

石川県聴覚障害者センターの藤平施設長に当機構事務局が同行して石川県下の全市町を訪問し、「アイ・ドラゴン4」設置要望書を提出しました。要望を受けて、能美市・加賀市・かほく市に設置されました。

障害者放送通信機構事務局

FAX 06-6242-6502

TEL 06-6242-6501

MAIL medekikutv@gmail.com

ご寄附のお願い

リアルタイム手話放送の費用は国の助成金や事業収入で工面していますが、とうていままかないきれず、事業を継続することが難しい状況です。どうかご支援いただきますようお願い申し上げます。